

株主通信

(第61期事業報告書)

株式会社 千趣会

株主の皆様へ

代表取締役社長

行待 裕弘
YASUHIRO YUKIMACHI



株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成17年12月31日をもって、第61期（平成17年1月1日から平成17年12月31日まで）の営業年度を終了いたしましたので、ここに経営成績と共に事業の概況をご報告申し上げます。

目次	
株主の皆様へ	2
経営方針	2
当社グループの経営成績	4
当社グループのトピックス	8
5期分の連結要約財務データ	10
連結財務諸表	12
単独財務諸表	13
会社概要と株式会社のご案内	14

経営方針

1. 会社の経営の基本方針

当社グループは、「良い商品」「良いサービス」をお客様に提供することを通じて、社会に貢献することを基本理念としています。

また、株主・顧客・取引先の皆様及び従業員など、すべての関係者と共存共栄を図り、企業価値を高めることを行動の指針としています。

2. 会社の利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、安定的な配当率の維持及び適正な利益還元を基本としています。

内部留保金につきましては、新規事業の開発活動及び既存事業の効率化を推進するための投資、財務体質のより健全化等に活用し、企業競争力と企業体質の更なる強化に取り組んでまいります。

3. 目標とする経営指標

当社グループは、『中期経営計画』の中で売上主義から企業価値経営への転換を目指しております。具体的な目標として平成19年12月期において営業キャッシュ・フロー100億円達成を目指しております。またそれに伴い収益性を重視し営業利益率5%を目指しております。

当社グループは、『中期経営計画』の基本方針として成長分野への積極的投資があります。今後、収益を拡大し企業価値の向上を目指します。

4. 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

当社グループは、平成19年12月期（第63期）を最終年度とする『中期経営計画』を策定しております。

(1)『中期経営計画』の基本方針

① 中核事業の収益力強化

カタログ通販事業、特に20代後半から30代女性を中心顧客とした既存分野については、無理な売上拡大は狙わず、収益力の強化に重点を置きます。

② 成長分野への積極投資

20代と40代への「顧客年齢層の拡大」と、インターネット・店舗への「チャネルの拡大」による売上成長を実現するため、積極的な投資を行います。

③ ブランド価値向上

「すぐとキメク、とてもワクワク」をスローガンとして、お客様の心に響く「ベルメゾン」になるための活動を全社員が徹底的に行います。

(2)『中期経営計画』の今期における取り組み状況

① SCM（商品供給一連管理）の推進

即時供給率（注文時点で在庫がある割合）、荷分け率（1回の注文に対する出荷回数の割合）は順調に改善しております。また輸入比率に関しても更に拡大しております。今後は未達の指標に関して改善のための各施策を行います。

② カタログ・ポジショニングの見直し

今年度よりそれぞれのカタログのポジショニングを見直した結果、総発行部数の削減を実現しております。今後も見直しを継続して行います。

③ 顧客基盤を20代から40代の幅に広げる

- ・20代・・・カタログ「プチベルメゾン」や20代向けのネット・モバイルによる商品販売やサービスを強化いたします。
- ・40代・・・40代をターゲットとしたファッションカタログ「Rashisa（ラシサ）」及びインテリアカタログ「Luxe Living（リュクスリビング）」を創刊いたしました。以上の施策により40代顧客の継続や新規会員の獲得強化に取り組んでおります。

④ インターネット利用の拡大

ベルメゾンネットのリニューアルによるコンテンツ強化によりインターネット売上は、当期454億円（前期比23.1%増）、うち純ネット売上167億円（前期比43%増）となっています。また、ネット専用商品開発チームを発足し更なる純ネット売上の拡大を目指しております。

⑤ 店舗事業の展開

新たに「ベルメゾンマーケット」の大垣店及び宇都宮インターパークショッピングビレッジ店を出店し合計6店

舗といたしました。今後も順次店舗展開してまいります。また現在カタログ展開しているファッションブランド「ルボンディール」の店舗を南青山に新たに出店いたしました。

⑥ 商品企画・開発力の強化

マーチャンダイジング・プロセスの見直しと商品開発のマネジメント体制の再構築に着手しております。

⑦ サービスの強化

顧客対応の中核拠点として、「ベルメゾンコールセンター」をオープンいたしました。また、お届け日数の短縮、ギフトサービスの強化、代金引換サービスの開始等、様々な顧客サービスの強化に取り組んでおります。

(3) その他

当社グループは、企業価値向上を実現するため、前述のとおり『中期経営計画』を策定・遂行しておりますが、平成17年12月に株主利益保護の観点から、いわゆる「事前警告型」の「当社株式の大規模な買付行為に関する対応方針」を定めました。

当社株式の大規模な買付行為がなされた場合に、これを受け入れるかどうかは、最終的には株主様のご判断に委ねられるべきであり、そのためには株主様に十分な情報が提供されることが必要であると考えております。

そこで、議決権割合が20%以上となるような当社株式の大規模買付けを行おうとする者（当社取締役会が同意した場合を除く）に対し、①事前に大規模買付者の概要、買付目的、買付価格の根拠及び経営方針などに関する必要かつ十分な情報を当社取締役会に提供すること、②当社取締役会による当該大規模買付行為に対する一定の評価期間が経過した後に大規模買付行為が開始されるべきであること、とするルールを策定いたしました。このルールが守られない場合には、株主利益の保護を目的として、新株予約権の発行等の対抗措置を講じる可能性があります。また、公平を期するため、大規模買付行為に対して取締役会が講じる措置の是非を検討し、取締役会に勧告する機関として、社外メンバーにより構成される特別委員会を設置しております。

当社グループの経営成績

1. 当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用、所得環境の好転に伴って、個人消費も堅調に推移するなど、景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、今後の個人消費を取り巻く環境には、年金問題・税制改革を始めとする家計への負担増などの不安要因が残っております。流通業界におきましては、個人消費が回復基調にある中で、業態間・企業間の優劣や格差が見られます。通信販売業界では、ネット通販企業や携帯通販企業、また健康食品・化粧品を扱う単品通販企業の売上が伸びている一方で、総合カタログ通販企業は伸び悩んでおります。今後、価格競争や商品・サービスに対する消費者の選別が一段と激しさを増すと共に、他方ではM&Aや業務提携といった動きが更に活発になるなど、厳しい経営環境が続くものと考えております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、平成19年度を最終年度とする3ヶ年の『中期経営計画』の初年度として、その重点戦略を推進してまいりました。

当連結会計年度の売上高は、1,454億53百万円（前期比1.2%減）となりました。

一方、利益面に関しましては、カタログ送料や印刷費などの媒体関連費用や商品調達等の効率的運用により、販売費及び一般管理費を削減いたしました結果、営業利益は34億32百万円（前期比17.5%増）、経常利益は39億62百万円（前期比30.6%増）となりました。また当期純利益につきましては、減損会計の早期適用により12億67百万円（前期比2.9%増）となりました。

【(株)千趣会の営業成績】

当期の営業成績につきましては、カタログ事業・頒布会事業を合わせまして、売上高は1,440億58百万円（前期比0.6%減）となりました。

利益面におきましては、カタログ送料、印刷費などの媒体関連費用を削減いたしました結果、営業利益は26億91百万円（前期比32.8%増）、経常利益は、35億32百万円（前期比35.2%増）となりました。

また当期純利益につきましては、15億93百万円（前期比72.6%増）となりました。

(株)千趣会の利益配当金につきましては、当期の業績並びに今後の経営環境等、諸般の情勢を勘案すると共に、安定的な配当率の継続を重視いたしております。その結果、当期末の利益配当金は、創立50周年を記念して記念配当金2円を実施し、普通配当金8円を加え、合計1株当たり10円とさせていただきます。

2. 事業別概要

〔通信販売事業〕

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当連結会計年度の売上高は1,393億91百万円（前期比0.2%減）となりました。営業利益は、35億35百万円（前期比17.1%増）となりました。

(1) カタログ事業



BELLE MAISON

昭和51年のスタート以来、ファッション衣料を中心として、服飾雑貨、インテリア、日用雑貨からマタニティ用品、子供服に至るまでの様々なジャンルの商品を「生活スタイルのナビゲーター」として会員の皆様のニーズにあわせてお届けし、支持を得てまいりました。

当期も、「すぐくトキメク、とてもワクワク」のスローガンのもと、ファッションの基幹媒体である「私たちの暮らす服」の発刊や各媒体のポジショニングの見直しを行っております。その結果、当連結会計年度の売上高は1,194億99百万円（前期比3.2%増）となりました。

カタログ事業では、18種類のカタログを通して様々な生活提案と共に千趣会らしさにこだわった商品をお届けいたしております。



■ Rashisa (ラシサ)

体型の誤差を修正したパターンから生まれた美しい40代のための服のカタログ
年4回発行



■ Luxe Living (リュクスリビング)

素材、デザイン、質感まですべてに上質を追求
ワンランク上のインテリア
カタログ
年2回発行

(2) 頒布会事業



頒布会事業は、オフィスで働く女性を中心に、グループ及び個人の会員に、毎月定期的に商品をお届けするという販売形態をとっており、他の通販会社とは異なる独自のシステムで事業を展開しております。

お届けしている商品は雑貨・食品を中心にコレクション性の高い、様々なアイテムを取り揃えており、そのほとんどは市販の商品には見られないオリジナリティの高い商品です。

その中でも、手作りキット専門カタログ「大好き！手作り号」、主婦の家事を助け、更に環境に配慮した暮らしに“いいこと”を提供するカタログ「いいことの素」など、頒布会ならではの新しい提案型カタログで、多様化する顧客のニーズに幅広く対応しております。



● 大好き！手作り号



● いいことの素

当社グループの経営成績

また、平成16年に発足いたしました（株）ベルメゾン・サービスセンターが、全国の大口職域グループに特化し、きめ細やかな顧客サービス及び販売促進を行い、職域会員の継続向上と拡大に貢献しております。しかしながら、売上高・会員数共に対前年において減少という結果となりました。

当連結会計年度の売上高は198億91百万円（前期比16.6%減）となり、月次平均会員数は67万23百人となりました。

※グルメ事業をカタログ事業から頒布会事業へ変更しており、変更後の数値により比較を行っております。

当期の主な新商品

- ハローキティ&サンリオワールド
キャラクター雑貨、香りの2シリーズを同時発売。
- コワザ HIP 美人
9万人に支持されたソフトアップパンツが進化した、ショーツ感覚のソフトガードル。3分丈と5分丈コースを設定。
- [あ*これいいね]
キッチンタオルやアームカバーなど、生活スタイルを提案する6シリーズ。
- ファブリックシリーズ 新商品6点
灯せばほのり香る、季節にちなんだハローキティのキャンドルコレクション。
- おなかにインナー
見せなくなる腹巻「おなかにインナー」。春夏、秋冬と季節に合わせた素材をかわいいデザインでお届け。
- 月の和カード
季節を楽しみ、笑顔が浮かぶ。そんな仕掛けがたっぷりの和風レターセット。



●コワザ HIP 美人



● [あ*これいいね]



●おなかにインナー



●月の和カード

[その他の事業]

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送事業及び店舗事業、また法人向けの商品・サービスを販売する法人事業などを合わせた、その他の事業の当連結会計年度の売上高は、60億62百万円（前期比19.5%減）となりました。

その結果、営業損失は38百万円（前期比84百万円損失減）となりました。

3. 今後の見通し

今後の見通しとして、日本経済は、設備投資の拡大と共に個人消費も堅調に推移し、加えて輸出の好調さも予測されることから、引き続き、景気は順調に回復するものと思われま。しかしながら、流通業界におきましては、消費をめぐる業態間の競争も益々激しくなることが予想され、厳しい経営環境が続くものと思われま。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、平成19年度を最終年度とする『中期経営計画』の2年目の目標達成に向けて、中核事業であるカタログ通販事業の収益力強化に重点を置きます。また20代前半と40代の「顧客年齢層の拡大」及びインターネット・店舗への「チャネルの拡大」を目指し積極的投資を行います。そしてベルメゾンの更なるブランド価値向上を目指した活動を徹底的に行います。

また不祥事の勃発や顧客情報の漏洩問題などを背景として、コンプライアンス（法令遵守）がますます求められてきています。

当社におきましても「倫理コンプライアンス委員会」の設置や「企業倫理ホットライン」の開設、「行動ケースブック」の作成、またeラーニングによる従業員への浸透を図り、企業倫理・コンプライアンスの徹底を図る体制を整備しております。

なお、平成17年12月の取締役会で決議された「当社株式の大規模買付行為に関する対応方針」について、第61期定時株主総会において選任された取締役で構成する、平成18年3月30日に開催の取締役会にて、今後も継続することを決定いたしました。

今後とも、当社グループ一丸となって更なる企業価値の向上に全力を尽くす所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■店舗



ベルメゾンマーケット大垣店

■インターネット



<http://www.bellemaison.jp>

■カタログ



当社グループのトピックス

おかげさまで (株)千趣会は、創業 50 周年を迎えました。

●こけし人形の頒布会からスタートしました

(株)千趣会は、昭和 30 年、こけし人形の頒布を目的に設立。OL を対象にした頒布会事業はその後、料理カード付き月刊誌「クック」をはじめ、タオルやハンカチ・下着などのオリジナル商品が大ヒットし業容を拡大してまいりました。昭和 60 年代には「わたしの料理ノート」や「定番クッキング」などの料理本が、1 ヶ月で数十万冊を売上げるヒット商品に。更に、平成 7 年発売の「月刊ちょこちょこ」や平成 9 年発売の「スープなしあわせ」は現在も多くの方に愛されています。最近では、小さなキャラクター入り芳香剤「プチリウム」が大ヒット。また、チーズケーキなどグルメの頒布会にも人気が集まっています。



●ベルメゾンカタログは、今年創刊 30 年

昭和 51 年創刊の「ベルメゾン」は今年で 30 年。当時は難しいとされていたファッション衣料の販売からスタートし、服飾雑貨や生活雑貨、家具、インテリア用品へ掲載アイテムを広げると共に、生活提案型の独自のカタログスタイルを確立。ベルメゾンとはフランス語で「美しい館」という意味です。館にはたくさんの部屋があって、そのひとつひとつから情報を発信していきたい、そんな願いが込められています。30 年たった現在、ファッションやインテリア、スポーツやコスメ、子供などたくさんの部屋から発信される主要なカタログは 18 種類。暮らしが豊かになる情報もあわせてお届けしています。



ベルメゾン創刊号

●インターネット時代を先取り「ベルメゾンネット」

千趣会は早くからインターネットビジネスにも注目し平成 8 年にホームページを開設。その後、女性のための No.1 ショッピングサイトを目指してベルメゾンネットが誕生。現在では、会員数 388 万人、売上 454 億円の規模に成長しています。デジタルカタログの導入や、ネット専用商品の開発体制の強化によって、今後もカタログと連動したコンテンツやネットの強みを活かした最新商品を充実させてまいります。

●カタログ、インターネット、ショップのマルチチャネル型流通業へ

千趣会が今後目指していくのは、カタログ、インターネット、ショップそれぞれが相乗効果を発揮できるマルチチャネル型の流通業。そのため、平成 14 年には愛知県蒲郡市にライフスタイル提案型ショップ「ベルメゾンマーケット」をオープンいたしました。現在は全国に 6 店舗。お客様との顔の見えるお付き合いを通して、カタログ、インターネットとの相乗効果を高めています。



ベルメゾンネット



ベルメゾンマーケット宇都宮店

女性の気持ちをとらえて常に半步先の商品や生活スタイルを提案してきた千趣会。これからもお客様に新たな感動と喜びをお届けし、「生活スタイルのナビゲーター」として確固たる支持と信頼を獲得できる企業を目指してまいります。

新たな顧客層の創造や会員サービスの充実に取り組んでいます。

●ルボンディール南青山店をオープン

平成 17 年 9 月、20～30 代のファッション感度の高い女性向けカタログ「ルボンディール」のブランドショップを東京・南青山にオープンいたしました。普段手にとって確認できないカタログ掲載商品をゆったりとしたスペースで試着していただけるよう予約制を採用。お客様とのコミュニケーションを大切にして、更に愛されるブランドを目指してまいります。



ルボンディール南青山店

●ペット専門ウェブサイト「ペットストリート」をオープン

平成 18 年 1 月、ペットが大好きな方を対象とした会員制のコミュニティサイト「PET ST(ペットストリート)」<http://petst.jp> をオープンいたしました。会員登録をすると、ペットの写真やプロフィールを公開する「戸籍」、ペットの話題を書き込める「ブログ」、ユーザー同士で情報交換できる「メール」などを利用できます。今後は個人や企業がサイト上でペットグッズの販売ができるコンテンツも開設する予定です。



●ベルメゾンコールセンターを新設

平成 17 年 8 月、更なるお客様満足度の向上を目指して、大阪市北区にベルメゾンコールセンターを新設しました。新センターではお客様から寄せられる様々なお問い合わせにも迅速に対応できるように情報系システムも刷新。お客様からのどんなご相談にも的確に対応していけるように、オペレータのスキルアップにも取り組んでいます。

CSR (企業の社会的責任) 活動にも取り組んでいます。

●CSR ポリシーを策定しました

創業 50 周年を機に、当社が目指すべき社会的責任を改めて明確にするための千趣会 CSR ポリシーを策定。その中で当社は、1 女性支援 2 コンプライアンス 3 環境対策の 3 つのテーマを通じて、企業の社会的責任を全うしていくことを宣言しています。

●ラオス植林事業に参画

当社では、13 年前よりオーストラリアでの植林事業に参画していますが、今年度よりラオスにおける植林事業にも参画いたします。この植林事業は王子製紙(株)ほか国内企業 10 社が参加するもので、ユーカリの木を年間 7,000 ヘクタールずつ、7 年間に亘って植林していくものです。当社は現在年間約 6 万トンの紙を使用していますが、今後はカタログ使用全量分の植林を目指し、地球環境の保全に持続的に取り組んでまいります。

●「千趣会 行動ケースブック」を作成しました

当社では企業が存在し続けるためには法令遵守はもちろん、社員一人一人が倫理観を養い、責任ある行動をとっていくことがより重要であると考えています。そのために昨年は、当社で働くうえで大切な 35 のビジネスケースを「千趣会 行動ケースブック」としてまとめ、全従業員に配布いたしました。また同時に「千趣会企業倫理ヘルプライン」を開設。法令や社内規則に違反する行為などに関して従業員なら誰でも気軽に通報できるシステムをつくり、全社あげてのコンプライアンス活動に取り組んでいます。



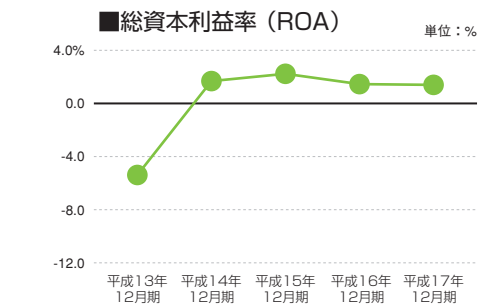
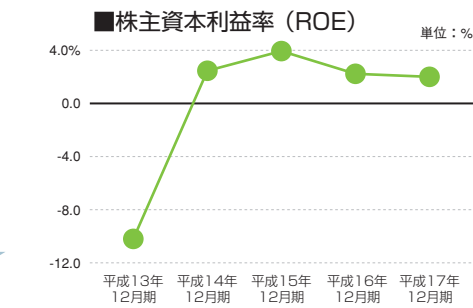
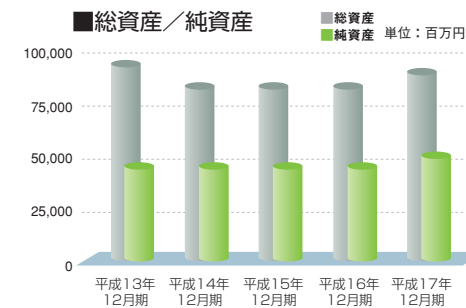
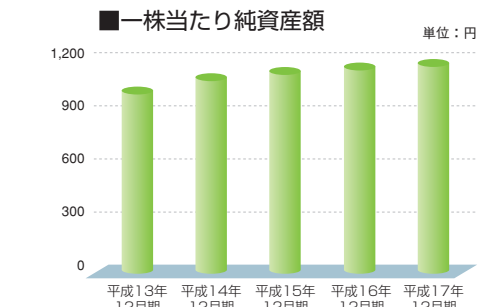
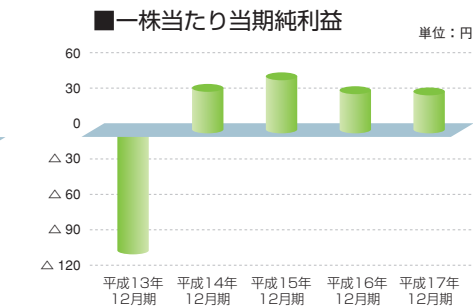
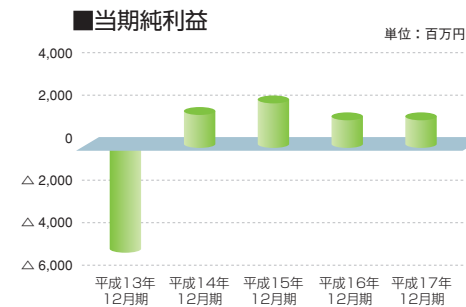
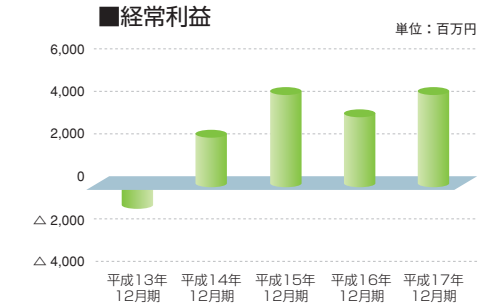
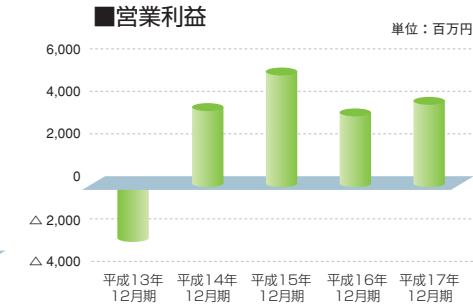
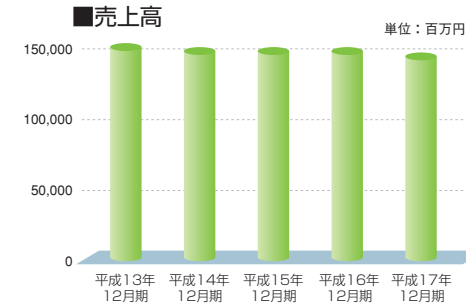
行動ケースブック

5期分の連結要約財務データ

単位:百万円(単位未満切り捨て)

	平成13年12月期	平成14年12月期	平成15年12月期	平成16年12月期	平成17年12月期
売上高	152,075	147,100	147,607	147,159	145,453
営業利益	△3,048	3,325	5,057	2,921	3,432
経常利益	△1,307	2,039	4,041	3,033	3,962
当期純利益	△5,228	1,366	1,819	1,231	1,267
設備投資額	215	487	467	161	1,393
減価償却費	3,005	2,704	2,496	2,284	1,806
総資産	95,584	88,118	87,269	87,560	92,788
有形固定資産	33,398	31,660	29,705	28,236	25,605
純資産	47,720	46,585	47,183	47,135	52,519
有利子負債	1,129	871	709	514	517
1株当たり (単位:円)					
当期純利益	△109.78	29.90	40.81	28.81	27.44
純資産	1,002.23	1,056.52	1,105.80	1,122.20	1,143.12
株主資本比率 (単位:%)	49.9	52.9	54.1	53.9	56.6
株主資本利益率 (単位:%)	△10.3	2.9	3.9	2.6	2.5
総資本利益率 (単位:%)	△5.3	1.5	2.1	1.4	1.4
株価収益率 (単位:倍)	—	19.7	29.3	30.1	54.7

注:△は損失を示します。



連結財務諸表

■連結貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科 目	前連結会計年度末	当連結会計年度末
	平成16年12月31日現在	平成17年12月31日現在
■資産の部		
流動資産	48,644	49,532
固定資産	38,916	43,256
有形固定資産	28,236	25,605
無形固定資産	1,163	1,475
投資その他の資産	9,516	16,175
資産合計	87,560	92,788
■負債の部		
流動負債	36,814	37,567
固定負債	3,563	2,659
負債合計	40,378	40,226
■少数株主持分		
少数株主持分	47	43
■資本の部		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	19,866	20,657
利益剰余金	19,372	18,438
土地再評価差額金	△ 8,911	△ 7,462
その他有価証券評価差額金	219	1,719
為替換算調整勘定	△ 35	△ 40
自己株式	△ 3,735	△ 1,153
資本合計	47,135	52,519
負債、少数株主持分及び資本合計	87,560	92,788

■連結損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成16年1月1日から平成16年12月31日まで	平成17年1月1日から平成17年12月31日まで
売上高	147,159	145,453
売上原価	76,115	75,173
売上総利益	71,043	70,279
販売費及び一般管理費	68,122	66,847
営業利益	2,921	3,432
営業外収益	351	686
営業外費用	239	156
経常利益	3,033	3,962
特別利益	287	48
特別損失	790	2,251
税金等調整前当期純利益	2,530	1,759
法人税、住民税及び事業税	452	308
法人税等調整額	843	181
少数株主利益	2	1
当期純利益	1,231	1,267

■連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成16年1月1日から平成16年12月31日まで	平成17年1月1日から平成17年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,989	2,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,734	△ 5,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,514	2,625
現金及び現金同等物の増加(減少)額	△ 259	78
現金及び現金同等物の期首残高	11,502	11,242
現金及び現金同等物の期末残高	11,242	11,320

単独財務諸表

■(株)千趣会 貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科 目	前事業年度末	当事業年度末
	平成16年12月31日現在	平成17年12月31日現在
■資産の部		
流動資産	45,355	47,115
固定資産	38,652	43,740
有形固定資産	25,716	25,257
無形固定資産	1,127	1,459
投資その他の資産	11,809	17,023
資産合計	84,008	90,856
■負債の部		
流動負債	35,761	36,327
固定負債	2,029	2,602
負債合計	37,790	38,929
■資本の部		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	19,866	20,657
利益剰余金	18,379	17,780
土地再評価差額金	△ 8,953	△ 7,462
その他有価証券評価差額金	300	1,744
自己株式	△ 3,735	△ 1,153
資本合計	46,217	51,926
負債・資本合計	84,008	90,856

■(株)千趣会 損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科 目	前事業年度	当事業年度
	平成16年1月1日から平成16年12月31日まで	平成17年1月1日から平成17年12月31日まで
売上高	144,942	144,058
売上原価	75,762	75,571
売上総利益	69,179	68,486
販売費及び一般管理費	67,153	65,794
営業利益	2,026	2,691
営業外収益	743	976
営業外費用	156	135
経常利益	2,612	3,532
特別利益	285	63
特別損失	1,077	1,762
税引前当期純利益	1,820	1,833
法人税、住民税及び事業税	27	18
法人税等調整額	870	221
当期純利益	923	1,593
前期繰越利益	2,929	3,194
中間配当額	340	364
土地再評価差額金取崩額	—	1,490
当期末処分利益	3,511	2,931

■(株)千趣会 利益処分計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科 目	前事業年度 株主総会承認日	当事業年度 株主総会承認日
	平成17年3月30日	平成18年3月30日
当期末処分利益	3,511	2,931
固定資産圧縮積立金取崩額	3	3
海外投資等損失準備金取崩額	14	11
計	3,530	2,947
利益処分量		
配当金	335	459
役員賞与金	—	34
(うち監査役分)	(—)	(4)
次期繰越利益	3,194	2,453

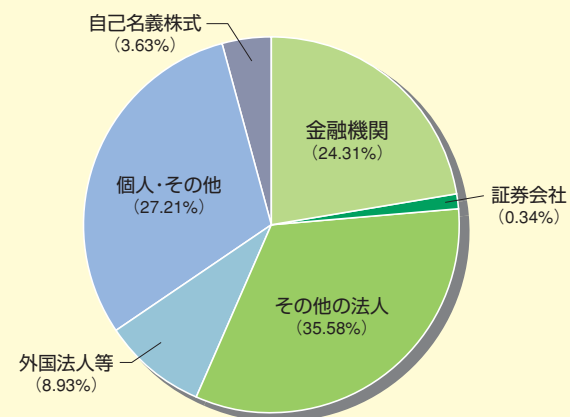
会社概要と株式のご案内

株式の状況

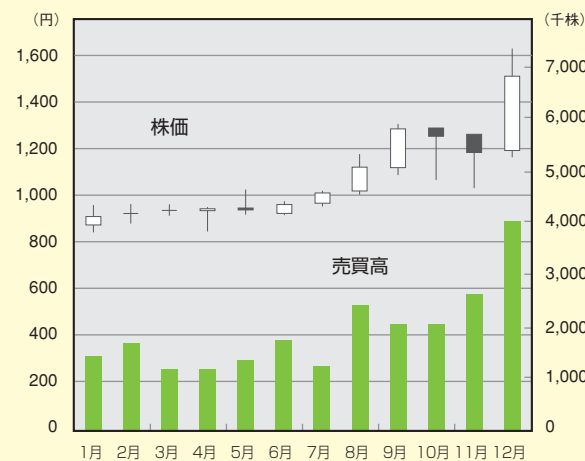
(平成 17 年 12 月 31 日現在)

会社が発行する株式の総数 180,000,000 株
 発行済株式の総数 47,630,393 株
 株主数 4,707 名

●所有者別持株比率



●平成 17 年度 株価／売買高推移



会社の概要

(平成 17 年 12 月 31 日現在)

商号 株式会社 千趣会
 英文名 SENSHUKAI CO.,LTD.
 本社 大阪市北区同心 1 丁目 4 番 31 号
 東京支社 東京都品川区東五反田 1 丁目 21 番 13 号
 ランディック五反田ビル
 設立 昭和 30 年 11 月
 資本金 20,359,134,244 円
 発行済株式総数 47,630,393 株
 従業員数 745 名
 連結従業員数 965 名
 ホームページアドレス <http://www.senshukai.co.jp>

関係会社

(平成 17 年 12 月 31 日現在)

■主な連結子会社及びその事業内容

- 千趣会ゼネラルサービス(株)
 本社 大阪市北区
 旅行業・情報提供サービス業
- 千趣運輸(株)
 本社 滋賀県野洲市
 貨物自動車運送業
- 千趣ロジスコ(株)
 本社 大阪市北区
 荷造梱包業
- 千趣会コールセンター(株)
 本社 千葉県印西市
 テレマーケティング業務の企画・実施
- (株)ベルメゾン・サービスセンター
 本社 大阪市北区
 顧客対応サービス及びエリアマーケティング

役員

(平成 18 年 3 月 30 日現在)

代表取締役社長 行待 裕弘
 専務取締役 堀井 紘一
 常務取締役 田川 喜一
 常務取締役 田辺 道夫
 常務取締役 澤本 荘八
 取締役 久保田 清
 取締役 藤由 和秀
 取締役 朝田 郁
 取締役 大石 友子
 常務執行役員 鳥取 捷二
 執行役員 吉田 詔
 執行役員 大山 幸次郎
 執行役員 大塚 康弘
 執行役員 道城 学
 執行役員 広田 建次
 執行役員 峯岡 繁充
 執行役員 中林 義博
 執行役員 星野 裕幸
 監査役(常勤) 佐野 誠
 監査役(常勤) 山岸 洋二
 監査役 羽間 平安
 監査役 小泉 英之
 監査役 森本 宏

会計監査人

新日本監査法人
 大阪事務所
 大阪市中央区安土町 2 丁目 3 番 13 号 大阪国際ビル

株式のご案内

決算期 12 月 31 日
 配当金 利益配当金受領確定日 12 月 31 日
 中間配当金受領確定日 6 月 30 日
 株主優待 権利確定日及びカタログの初回発送時
 12 月 31 日… 4 月中旬初回発送予定
 6 月 30 日… 9 月中旬初回発送予定

所有株数	カタログ掲載商品の割引
100 ~ 999 株	10%
1,000 株以上	15%

(*一部、割引対象外カタログあり)
 (平成 17 年 12 月 31 日現在の株主様より、上記優待内容に変更)

株主総会 定時株主総会 3 月
 臨時株主総会 必要の都度

株主確定基準日 12 月 31 日

公告の方法 電子公告により、以下のホームページに掲載します。
 (<http://www.senshukai.co.jp/koukoku>)ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告が出来ないときは、日本経済新聞に掲載します。
 貸借対照表、損益計算書及び決算に関する情報は、以下のホームページに掲載しております。
 (<http://www.senshukai.co.jp/kessan>)

名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目 5 番 33 号
 住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目 5 番 33 号
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒183-8701
 東京都府中市日鋼町 1 番 10
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (住所変更等用紙のご請求)

☎ 0120-175-417 (その他のご照会)
 ☎ 0120-176-417
 同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店
 1 単元の株式の数 1,000 株
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 大阪証券取引所市場第一部



〒530-0035 大阪市北区同心1丁目4番31号 電話(06)6881-3100
<http://www.senshukai.co.jp>



この冊子はリサイクルペーパーを使用しています。